

市政を問う 一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。 ※会派は、令和3年9月現在で掲載しています。



小栗上野介と文化財保護

丸山 芳典 (新風会)

質問 幕末の偉人である小栗上野介忠順公に関する史跡について、現在の指定状況と保存管理の状況は。

答弁 昭和28年に小栗上野介忠順の墓が県指定史跡に昭和57年には終焉の地と小栗邸跡が当時の倉瀨村指定史跡に指定されている。いずれも所有者と地域住民の協力により適切に管理されており、引き続きこれらの文化財を保護していきたいと考えている。

質問 吉井地域の多胡郡正倉跡や群馬地域の上野国分尼寺跡は本市の調査により

国指定などの成果を上げているが、倉瀨地域においても小栗公に關係する遺跡の調査を新たに実施して指定を目指す考えは。また、関係書類を収集する考えは。

答弁 小栗上野介忠順に關係する遺跡は、いずれも県あるいは市の指定遺跡となっており、新たな調査は予定していないが、引き続き保護を図っていきたい。また、関係資料についても、所有者が適切に保存できるように、しっかりと対応していきたい。



おとしよりぐるりんタクシーの利用状況
協議体の拠点整備とコーディネーター配置

清水 明夫 (新風会)

質問 おとしよりぐるりんタクシーの新規ルートの利用者からの反響は。

答弁 利用者からは、1週の運行時間が長過ぎるなどの声がある一方で、行きはおとしよりぐるりんタクシーを利用して、帰りはタクシーで帰れば効率的に買い物ができるなどの声もあり、

利用者が制度を活用し、自分に合った利用をしている。今後も利用者の声を聴きながら、より良い制度となるように努めていく。

質問 第2層協議体にコーディネーターが配置できれば、住民主導の活動をより一層サポートできると思うが、本市の考えは。



特別支援学校の卒業式

答弁 本市では、協議体活動を支援するためのコーディネーターを3人配置しているほか、長寿社会課の職員が市内全域の活動をサポートしている。また、地域に設置している第2層協議



市立特別支援学校の卒業式・入学式
新型コロナウイルス ワクチン接種

新保 克佳 (公明党)

質問 特別支援学校の卒業式を市立中学校の卒業式と別の日程に変更できないか。また、入学式の状況は。

答弁 特別支援学校の卒業式は、規則により3月13日と定められ、小・中学部合同で実施している。入学式については定めはないが、1学期の始業日の午前5時に実施している。学校で十分に

検討するよう、要望の趣旨を校長に伝え、対応したい。

質問 妊婦への接種に対する本市の考えは。また、インフルエンザワクチン等との接種間隔の周知は。

答弁 妊娠中の感染は、特に妊娠後期で重症化しやすいとされ、国等では妊婦への接種を推奨している。本市では、新たな集団接種会場を本庁舎21階に設け、希望者がより接種を受けやすくなったことから、今後も希望する妊婦への接種を進めていきたい。また、コロナワクチンの接種前後に他の予防接種を受ける場合は、13日以上の間隔を置くこととされており、改めて接種間隔に注意するよう、広報高崎などで周知したい。



コロナ禍の学校教育
小中高生の自殺予防

三島 久美子 (無所属)

質問 登校できない児童・生徒にとつて、オンライン授業は学びの場の確保と心のケアに有効であると思うが、今後の運用は。

答弁 各学校ではタブレット端末を活用し、授業の配信や朝の会、帰りの会を通じての健康観察、翌日の連絡等を行っている。感染拡大により学級閉鎖や休校となった場合は、コミュニケーションを大切にしながら工夫ある対応を想定している。市教育委員会としても児童・生徒の学びを止める

ことがないよう、各学校の取り組みを支援したい。

質問 子どものSOSの早期発見を担うゲートキーパーへの理解を深めるべきと思うが、本市の取り組みは。

答弁 各学校では、児童・生徒がピアサポート活動に取り組むほか、ゲートキーパー講座を受講した教職員による校内研修等を実施している。市教育委員会では、子ども同士が悩みを受け止め合い、互いに支え合えるよう、各学校を支援したい。



新型コロナウイルス
感染症対策

三井 暢秀 (市民クラブ)

質問 子どものワクチン接種について保護者や子どもたちからさまざまな声が上がられているが、12歳以上の子どもの接種の考え方は。

答弁 ワクチン接種はあくまで任意であることや、12歳以上の小・中学生の接種には必ず保護者の同意を得るといふ国の方針を踏まえ、保護者に接種の案内をして

いる。また各学校では、感染の有無やワクチン接種に関する偏見・いじめなどが決して起こらないよう、児童・生徒に指導している。

質問 陰性証明書やワクチン接種証明書などの各種証明書の取り扱い。

答弁 新型コロナウイルスの患者には就業制限通知書や入院勧告書などを送付し、療養が



コロナ禍での貧困対策
非正規公務員の待遇改善

依田 好明 (日本共産党)

質問 貧困の広がり深刻化について、本市の考えは。

答弁 生活困窮者からの新規の相談は令和元年度の485件に対し、2年度は2123件であり、住居確保給付金では令和元年度の支給決定が23件、支給金額が212万9700円であるのに対し、2年度は495件、8910万4600円とそれぞれ大幅に増加している。また、社会福祉協議

終了した際に各解除通知書を送付している。陰性証明書や治療証明書は発行しておらず、保険会社への請求には解除通知書を使用して



もらっている。また接種証明書は、海外渡航時の防疫措置の緩和を目的として、申請により交付している。

会が実施する特別貸し付けにも多くの申請があり、本市でも新型コロナウイルスの影響が大きいと認識している。今後も、相談者に寄り添った



コロナ禍における本市の移住定住促進のための広報

大河原 吉明 (新風会)

質問 コロナ禍における本市の移住定住促進の現状は。

答弁 本市への移住定住を促進するためには、都市としての魅力を総合的に高めることが重要と考えている。そのため、福祉、子育て、教育、文化芸術、スポーツ、防災など、さまざまな分野において先進的な施策や事業を実施している。また、本市の魅力や先進的な取り組みを発信するため、フェイスブックの「高崎目線」や移住情報をまとめたホームページなどを開設し、全

国に向けて積極的な情報発信に努めている。

質問 ターゲット広告の活用や民間ポータルサイトとの連携などの新たな手法を検討することも含め、今後の広報の方向性は。

答弁 今後も本市に関心を持った人々に、本市の魅力をしつかりと伝え、最終的に移住定住につながるよう取り組んでいく。また、新たな手法についても、効果的な情報発信の手法と捉え、今後研究していきたい。



嘱託職員の待遇改善に向けた交渉